

JASPA(ジャスパ、横浜

市保土ヶ谷区、阿部和幸社長、

045・264・4494)

は、航空機部品の非破壊検査の資格取得を目指す技術者向けに、実務経験(OJT)の場を提供する事業を始めた。新潟市西蒲区のエンジン部品製造工場で指導する。航空機の安全性を担保する品質保証を担う人材育成への貢献を目指す。

(新潟支局長・丸山美由紀)

## 実務400時間以上

航空機部品は、航空宇宙分野の非破壊検査技術者認証の国際規格「NAS410」に基づくレベル2技術者が合否を判定し、レベル3技術者が最終承認を行なう。レベル2技術者の認証を受けるには、座学と訓練を受けて資格試験に合格するとともに、400時間以上のOJTを積む必要がある。エンジンであれば英ロールスロイス、米ゼネラル・エレクト

リック(GE)、米プラット・アンド・ホイットニー(P&W)などの検査要求の違いを学び、理解することが求められる。

## 自らは苦労経験

経済産業省の支援のもと、日本航空宇宙非破壊試験委員会が発足。国内初の訓練センターを神戸市を開設し、2019年12月に第1回の資格試験を行った。OJTは国内企業への出向または自社で行うこととされ、同委員会は受け入れ先をつせんしていない。航空機部品事業の新規立ち上げを目指す場合、OJT受け入れが可能



JASPAの英国人顧問(左)による技術指導

## JASPA、新規参入後押し

空機産業へ新規参入を

目指す企業に積極的に

指導を行い、メーカー

認証の取得や国内重工

業との取引を手助けし

ている。新潟市が支援

する「NIIGATA SKY PROJECT」の参画企業と連

携して国内に航空機部

品のサプライチェーン

(供給網)を構築した。

JASPAによるOJTは6ヶ月間程度で

指導料は300万~400万円としている

が、受講者のスキルや経験に応じて相談して決める。すでに4月から光製作所(さいたま市岩槻区)の福島真二光製作所(さいたま市岩槻区)の工場の社員を受け入れた。当初4~5人、いずれは10人とし「レベル3技術者の育成も

資格者を招くなどしての関係を築ければ」と

阿部社長は語る。

## 受け入れを開始

先の協力や海外から有の関係を築ければ」と認証管理体制を構築。阿部社長は語る。

JASPAは4年に創業。山之内製作所(横浜市神奈川区)の

が苦労した経験を伝えられることで「新規参入企

業に道のりをショートカットしてもらい、将

来はお互い協力企業と精密度部品を一貫生産す

め、ハードルが高い。JASPAは、取引

なってウインーウイン

る。山之内製作所は航

長は展望を示す。